

平成19年度 和歌山県文化奨励賞

きし 岸 ミツアキ

住 所：東京都渋谷区

出 身 地：和歌山県橋本市

生 年：昭和36年

本を代表するジャズ・ピアニストとしての地位を
確立している。

■現在

ジャズピアニスト

◎業績及び経歴

昭和36年粉河町(現：紀の川市)に生まれ、市立橋本小学校、市立橋本中学校、県立笠田高等学校で学ぶ。高校時代からプロとして活動を開始、平成6年に活動の拠点を関西から関東に移す。

平成9年以降、アメリカのトップ・ミュージシャン達との共演によるニューヨーク録音6作、ロサンゼルス録音1作を含む計10作のリーダー・アルバムを制作、うち3作が『スイングジャーナル選定ゴールドディスク』を獲得。

平成11年、自己のトリオでアメリカの有名ジャズ・フェス『コンコード・ジャズ・フェスティバル(第31回)』に出演、ローズマリー・クルーニーやカウント・ベイシー・オーケストラ、マンハッタン・トランスファーなど同じステージに立った。

平成15年秋には、日露首脳会談の折に合意されたロシア全土で日本の伝統や文化を紹介するというプロジェクトの一貫として、国際交流基金の要請により、ロシア各地で親善公演を行なう。好評を博し、平成16年と平成18年にアンコール公演も実現。

確実なテクニックに裏打ちされた絶品なスウィング感、ダイナミックかつ繊細なタッチはジャズ・ファンのみならずクラシック愛好家からも定評があり、ライブ活動、TV・ラジオ出演、CMソング、海外より招いたアーティストとの共演をたびたび行うなど常にグローバルに幅広く活躍。近年のスイングジャーナル誌の読者人気投票でも常に上位にランクされるなど、実力・人気ともに日